

(青森県) 五所川原市広報

# 市政ニュース

毎月5.15.25日発行 第120号 一部2円  
発行所 五所川原市役所 印刷所 青森民友新聞社

津軽華子さん

虫おくりをご見物



ことしの秋、義宮殿下とご結婚される津軽華子さんは先祖のお墓参りとご婚約の報告

をするため 8月3日 来県いたします。

津軽華子さん、4日弘前の津軽藩の旧所名跡をお回りになつたあと、餘ヶ沢町種里にねむられるご先祖、津軽光信公のお墓参りをされ、午後3時37分から五所川原の虫おくりを10分間、ご見物されます。

津軽華子をおまもりする北斗グラウンドには、虫おくりの参加チームが全員勢ぞろいし、華子さんが乾橋にご到着されたころ、一せいに踊りだすことになっております。

## 市制10周年記念

### 発展の歩みと将来

市政施行十周年記念、市民文化会館落成記念式典は五所川原夏まつりのふたあけの八月三日、午前十時から市民文化会館でおこなわれます。ここに、市制十周年にあたり、五所川原市の発展の歩みと、その将来を探究してみよう……。

五所川原市発展の歩み  
五所川原市が、六〇有余年の歴史と伝統をほこる五所川原町、中川村、三好村、飯詰村、長橋村、松島村、栄村の一町六カ村が合併して、人口三六五〇四人の市として発足したが、昭和二九年一〇月一日、ことしで一〇年となる。

その後、昭和三〇年には昆沙門、昭和三一年には長富、七和村(下石川を除く)、梅田、中泉、昭和三三には小曲が編入合併され、いまでは、面積一六七・五三平方千米、人口五〇一九五人の農業を中心とした田園基幹都市として着実な歩みを見せております。五所川原市は、津軽半島の根幹部に位置し、西北両郡を背景にして、青森、弘前、八戸の旧三市について独自の経済圏が確立されるなど、津軽半島広域圏の行政、文化

交通の中心をなしております。

また、ふくらむ市街地人口の住宅緩和のため、三三ヘクタール、九〇〇世帯の近代住宅団地も造成中であり、昭和四二年度には完成されよう。

農業については七〇〇ヘクタールの区画整理を終えさらに一〇〇〇ヘクタールの区画整理も計画されており、ご園も近代化施設が取り入れられるなど、農業構造改善事業が着々進められ明日の明るい農業へと大きく前進しております。

五所川原市の未来  
未開発地域が広範であればあるほどその中心的性格をおびる地域の将来は大きい。五所川原市は津軽半島広域圏の中心都市であり、津軽半島は、工業振興地域にくらべ所得水準が年々低

下しつつあるがこれは自然的制約によるものではなくかくされた生産力がまだ生かされていないところに問題が秘められているのです。総面積の三分の二を占める山地には膨大な森林が眠っているし、米とりんごは日本にはこの位置にあります。重化学工業はともかくとして木材工業や、食品製造などの地場産業は、まだ発展の要素をもっており、観光資源も豊富です。

いよいよ着工の段階に入り青森東京間九時間の夢が実現し津軽半島の突端から北海道をつなぐ画期的な青函トンネルの試掘は、青森県と北海道の両方から進められております。さらに津軽半島縦貫産業開発道路も実現しそうです。計画されている道路は、当市の東側をぬけ中山山脈の峻線を通つて津軽半島の突端につき進むことになっております。これが出来れば八六〇ヘクタールの眠れる森林が開発近代化され、これによつてよみがえる産業の振興は拠点である当市にはねかえつてくることになろう。

そして、当市は近代化都市として大きく飛躍することになります。



写真：開発がまたれる中山山脈

# 新川原

真でみるむかしといま

昭和29年、五所川原市が生まれてから、ことして10年になります。

わたくしたちの郷土も幾多の年月を経たいま、街並が変わっております。人力車の走つた路も、いまは自動車が走っております。

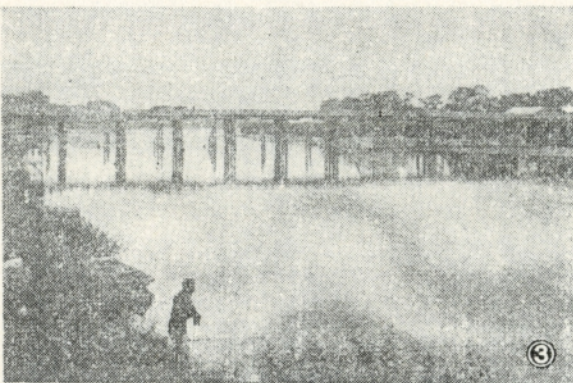
そこで、むかしを写真でふりかえつて見たいと思います。

(この写真集を作るにあたり、写真を提供してくださつた方に厚くお礼いたします)



①大正時代の駅通り…大正7年、陸奥鉄道が開通してから誕生した新興街、それまでは一面の田圃であつた

②いまの駅通り

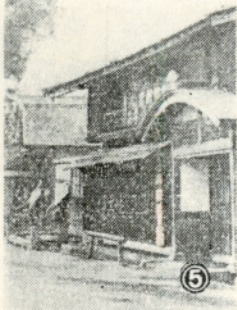


③

④明治一七年完成の乾橋(長さ一三四・八米)…これまで西と北の

交通は渡し舟でおこなわれていた

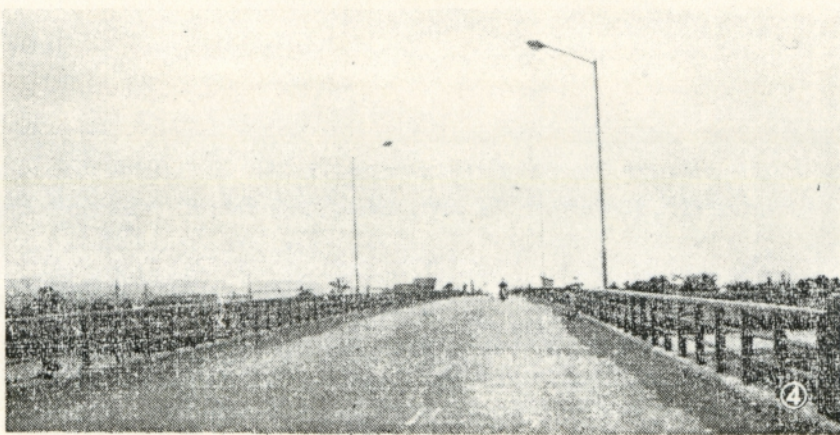
⑤昭和三七年完成の乾橋(長さ三四六米)



⑤



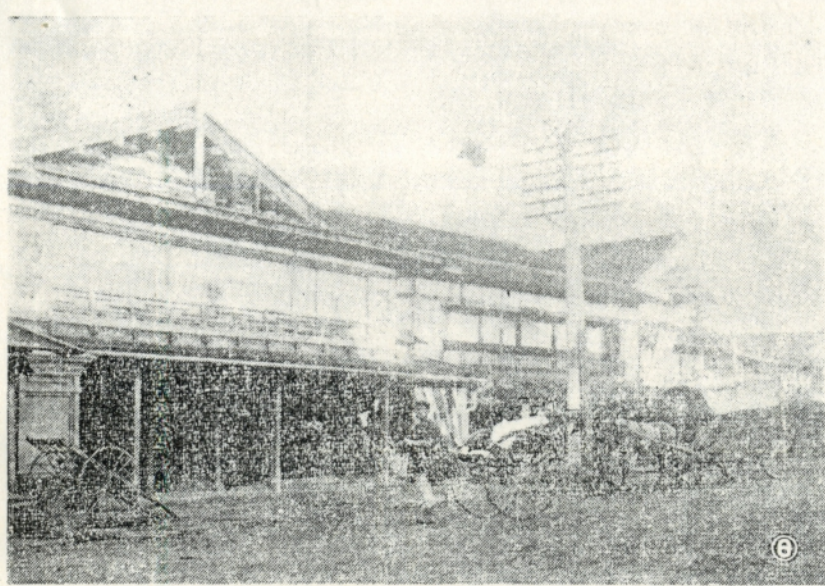
②



④



⑥



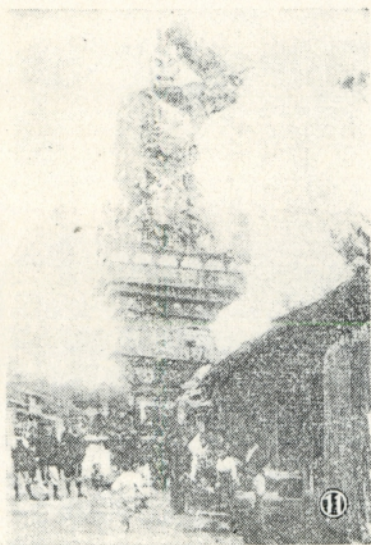
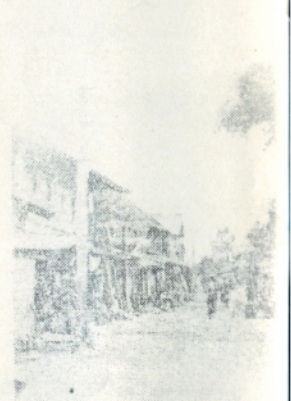
⑥

⑥明治40年ごろの柏原商店街…当時、奈半  
旅館前が馬車の発着所で、弘前、大釈迦、  
金木、中里、鯉ヶ沢へと走っていた



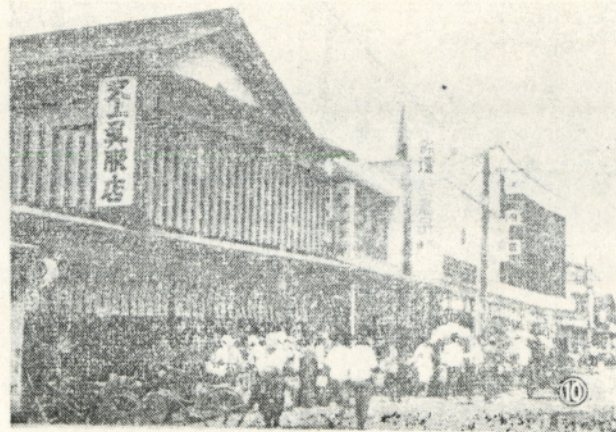
⑦

⑦寺町の米問屋街：明治の初期は  
三四軒の米問屋があつたという、写  
真の大本は法永寺にあつたもの  
⑧いまの寺町通り

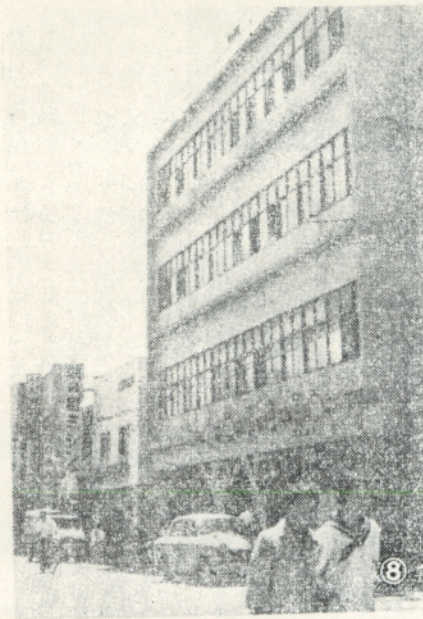


⑩

⑩明治時代の新町のネブタ



⑩



⑧

⑧西北地方最大の富豪布嘉邸  
⑨布嘉屋敷に建てられたデパート



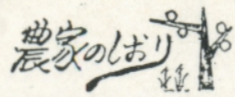
市制 10 周年記念

201 人・100 団体を表彰

◇特別功勞者(4人)  
 長尾角左エ門、前田顯三、故三和精一、故和田山蘭

◇国果の褒賞受賞(13人)  
 荒谷勝太郎、阿部誠一郎、故小笠原茂右エ門、故佐々木嘉太郎、杉野証三、仙庭榮八、高橋佐左エ門、辻三郎、鶴谷正次、成田篤弥、故平山為之助、増田桓一、山形善太郎

◇合併功勞者(67人、18団体) 秋田正、秋元久吉、飯塚平次、故石岡磯吉、一戸辰四郎、伊藤吉郎、岩館忠雄、梅田合併促進委員会、故小笠原茂右エ門、長内堅造、小田桐勝義、小田桐政吉、小野豊四郎、小野稔、葛西保、片岡由松、川浪金昇、菊池久左エ門、菊池清助、木村誠一、工藤勘吉、古川篤三郎、小曲合併促進委員会、今嘉四郎、今良太郎、斎藤伊太郎、坂本其作、坂本平太郎、坂本平内、笹森富栄、笹森豊作、故沢田精一、鹿内恭太郎、故渋谷専之丞、鹿藤勝蔵、仙庭栄八、其田長六、高橋市太郎、高橋石太郎、高橋富雄、高橋秀作、高橋文治、故竹谷末造、館山勇、田中専之作、対馬賢司、寺田武一、外崎千代吉、飛鳥浩三、中泉合併促進委員会、長尾角左エ門、故長尾証次郎、長富合併促進委員会、中谷兼太郎



(8月1日~20日)

○稲作…病害虫の被害から稲を守り、災害は未然に防ごう…

①水のかけひき…出穂前は漏水を防ぎ、10~12cm位の深水にして低温による不稔を防止する。出穂後2週間位までは5~6cm位の深水を保つようにし、その後は3cm程度にして水の充実をはかる。

②くびいもち病防除…出穂直前と穂揃期の2回薬剤散布の励行により防除を徹底する。

③ニカメイ虫防除…第2回目の出穂はじめてから出穂期にかけての薬剤散布は、重要ですから必ず散布する。

④台風の対策…畦畔や水路の雑草を刈取り、また障害物を取り除き、大雨のとき退水を早めるようにする。なお、台風の際、雨が少なくて田圃に水が入っていないと稲の体内の水分が少なくなり、やせ蒺ができるから深水にする。

○やさい…肥培管理を適切に行ない、病害虫の防除は手ぬかりなく…

①白菜…種まきは適期に行ない、間引きは発芽後1週毎に3回実施する。また第2回目の間引きのとき液肥で追肥する。

②だいこん…高畦作りは乾燥の影響を受けやすいので平畦栽培にあらためる。種まきは品種による適期を失わず、早まきはさける。

③ねぎ…定植後1ヵ月位で第1回目の追肥と土よせをする。土よせは葉の分かれ目がかくれない程度に。  
 (農業改良普及所)

中谷弥八郎、七和合併審議会、故奈良乾一、故成田長作、鳴海博、原清司、広瀬清、毘沙門合併促進委員会、福土孝一、船水良昭、松本与三郎、三浦一正、三浦藤一、故三上泰助、故毛内寛治、山内久三郎、山形泰一、青森民友新聞社、朝日新聞社NHK、河北新報社、産経新聞社、東奥日報社、毎日新聞社、陸奥新報社、読売新聞社、山田忠蔵、故横山藤作

◇市議会議員(市制施行後8年以上:11人) 秋元久吉、葛西保、木村千代吉、笹森証五郎、仙庭栄八、田中専之作、鶴谷初太郎、中野修三、福土孝一、松本与三郎、和田新

三好々、飯詰川土地改良区  
 ◇行政連絡員(市制施行後6年以上:11人) 小田桐七郎、氣田勝治、其田良逸、高橋武一、寺田清、外崎松四郎、成田西蔵、原定五郎、堀内貞三、村田定五郎、吉村嘉右エ門

◇納税組合長(市制施行後6年以上:18人) 一戸登一郎、大沢福太郎、小野健造、小野証吉、川浪金昇、木村久、今榮蔵、斎藤健三、たか島長三郎、高橋馨、竹林順逸、田辺基之助、外崎清一、成田充蔵、平山文三郎、堀内貞三、村上純一、藤森兼世

◇議会議長(1人) 三橋兼四郎

◇農業委員(市制施行後10年以上:5人) 北川一郎、木村三太郎、成田久雄、平山日出夫、柳原与四郎

◇産業経済(8人) 17団体  
 阿部精一、秋田藤八郎、飯塚平次、五所川原共同職業訓練所、関実正、土岐恒太郎、平山文三郎、松野賢吉、山内キク、五所川原市観光協会、飯詰農協、飯詰第一、梅沢、栄々、中川々、第一中川々、長橋七和々、北栄々、松島々、松島村第一々、水野尾々

◇社会福祉(2人) 29団体  
 太田良作、五所川原保育園五所川原青年会議所、五所川原ライオンズクラブ、五所川原ロータリークラブ、さかえ保育園、増田桓一、三好保育所、五所川原青年団、飯詰連合青年団、梅沢七和々、中川、長橋々、七和々、毘沙門々、松島々、三好々、飯詰婦人会、梅沢小曲、五所川原々、長橋々、長富々、毘沙門、松島、三好、栄連合、七和連合、中川々、若葉保育所

◇民生委員(市制施行後10年以上:7人) 大阪徳太郎、川村長吉、北川孫一、神吉太郎、寺田まつ、乗田あね、山田峰作

◇教育、文化、体育(17人、34団体) 秋元省三、浅井獅子舞保存会、阿部徹、飯詰小学校父母と先生の会、一野坪小学校PTA、梅泉

小学校教師と父母の会、沖飯詰小学校父母と先生の会、小野秀雄神山財産区、川島孝吉、木村幸八、五所川原小学校移転改築落成式記念事業協賛会、学校法人五所川原学園学校法人下山学園五所川原小学校創立八十周年記念事業協賛会、五所川原小学校父母と先生の会、五所川原小学校母の会、高野財産区、栄小学校父母と先生の会、栄中学校PTA、川原市体協、西北自動車学校、天内勇二郎、高橋力造、寺田武一、寺田ハルエ、飛鳥謙逸、中野修三、長尾政五郎、成田不二雄、七和中学校父母と先生の会、羽野木沢小学校復興対策委員会、羽野木沢小学校児童保護会、原子羽野木沢復元財産区、島山みどり、毘沙門小学校創立記念事業協賛会、前田野田創立区、松島中学校父母と教師の会、松島中学校父母と先生の会、南小学校三周年記念事業協賛会、南小学校父母と教師の会、三好中学校父母と先生の会、漢川小学校PTA、山形清蔵、和田新、幾ヶ丘幼稚園、聖心幼稚園、和順愛児園、株式会社中三

◇新市建設審議会(1人) 原又三郎

◇消防団(30年以上18人)  
 秋田繁昌、小田桐政光、川村長吉、嘉山伊八郎、木村伊省、工藤喜市、工藤正雄、斎藤千代吉、鹿内武夫、其田一郎、館山長次郎、鶴谷初太郎、中村正治、奈良清三、藤森浅一、三浦三郎、毛内幸次郎、柳沢千代造

◇消防団関係(1人) 尾崎藤雄

◇長年勤続職員(勤続20年以上9人) 伊藤浪三郎、岡田晴正、斎藤忠一、島谷清八郎、神定一、杉野証三、中林準蔵、長尾政五郎、三上平十郎

◇市民文化会館落成関係(4団体) 岡建築設計事務所、新田建設株式会社、市民文化会館協賛会、五所川原市文化振興会議

◇長年勤続教員(8人)

小学校教師と父母の会、沖飯詰小学校父母と先生の会、小野秀雄神山財産区、川島孝吉、木村幸八、五所川原小学校移転改築落成式記念事業協賛会、学校法人五所川原学園学校法人下山学園五所川原小学校創立八十周年記念事業協賛会、五所川原小学校父母と先生の会、五所川原小学校母の会、高野財産区、栄小学校父母と先生の会、栄中学校PTA、川原市体協、西北自動車学校、天内勇二郎、高橋力造、寺田武一、寺田ハルエ、飛鳥謙逸、中野修三、長尾政五郎、成田不二雄、七和中学校父母と先生の会、羽野木沢小学校復興対策委員会、羽野木沢小学校児童保護会、原子羽野木沢復元財産区、島山みどり、毘沙門小学校創立記念事業協賛会、前田野田創立区、松島中学校父母と教師の会、松島中学校父母と先生の会、南小学校三周年記念事業協賛会、南小学校父母と教師の会、三好中学校父母と先生の会、漢川小学校PTA、山形清蔵、和田新、幾ヶ丘幼稚園、聖心幼稚園、和順愛児園、株式会社中三